

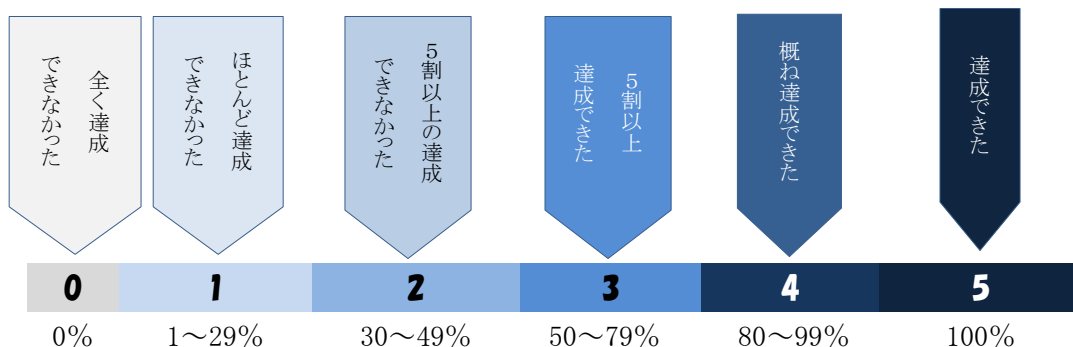
# 松山市男女共同参画事業実施計画報告書（平成 29 年度分）

～男女が力を合わせて「全国に誇れる松山」をつくろう～

男女共同参画社会の実現を目指す「松山市男女共同参画基本計画<sup>1</sup>」を実効性あるものとするために、松山市では「松山市男女共同参画事業実施計画（以下、実施計画とする）」を策定しています。各事業を「目標達成度」と「男女共同参画への配慮度」から評価し、課題等を事業に反映させるためのフォローアップを行います。

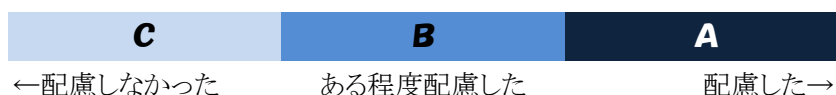
## 【目標達成度】

年度当初の予定をどの程度達成できたか



## 【男女共同参画への配慮度】

事業の実施にあたって、男女共同参画に配慮したか



## 【企画】

事業について、男女双方の意見を参考にしたか。またその事業が男女双方にとって利用・参加しやすいようになっているか。

## 【広報、出版物等の言葉への配慮】（表中では「表現」とする）

広報、出版物やホームページなど、公的広報のイラストや言葉について男女共同参画に配慮した表現となっているか。

## 【改善】

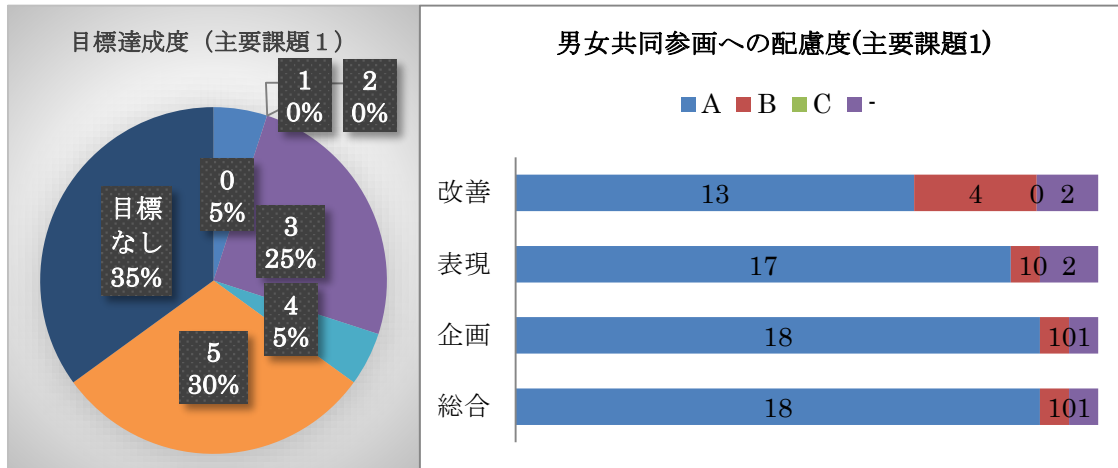
事業について、PDCA サイクルに基づいた運用を行い、男女共同参画の視点から事業の見直しや改善の検討を行っているか。

<sup>1</sup> 配偶者暴力防止法に基づく「松山市配偶者暴力防止基本計画」を含む計画です。

## 主要課題 1 男女の人権の尊重

重点目標 ①男女間のあらゆる暴力の根絶 ②生涯を通じた男女の健康支援 ③メディアにおける男女の人権の尊重

主要課題 1 では、DV 防止や被害者支援等 20 事業を実施しました。



### (1) 目標達成度 平均 4.1 点 (5 点満点)

DV

「DV 等に関する相談の実施」「DV 被害者支援対応マニュアルの見直しと活用」等、数値目標設定になじまない事業もあるため「数値目標なし」もありますが、数値目標のある事業は、達成度平均 4.1 点となり、ほぼ目標を達成しました。

28 年度に引き続き、大学と連携したデート DV 防止啓発活動を実施しました。学生から学生一人一人に手作りのパープルリボンとチラシ入りのティッシュを手渡し、デート DV の防止を訴えました。

DV 等に関する相談窓口として、家庭・子育て相談室等を設置していますが、29 年度の相談件数は 536 件でした。平成 25 年度の 778 件をピークに、相談件数は年々減少傾向が見られていましたが、平成 29 年度は前年と比較し微増となりました。今後も、相談窓口での適切な対応を行うとともに、個別の事案に速やかに対応できるよう、関係機関及び部署との連携を深めていきます。

また、職員の DV 等に対する意識を向上させるため、「女性に対する暴力をなくす運動」週間に庁内放送で周知を行ったり、DV 被害者支援担当者の研修会も行っています。

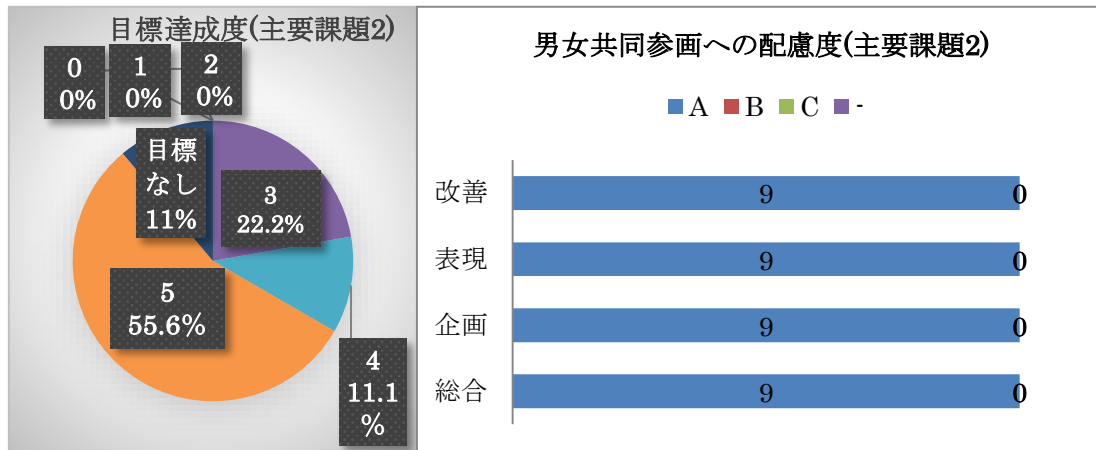
### (2) 男女共同参画への配慮度 概ね A 評価

多くが A 評価で占められていました。前実施計画から引き続いて概ね A 評価であり、今後も配慮すべき点を適宜検討しながら事業を実施します。

## 主要課題2：男女共同参画の視点に立った社会制度・慣行の見直し

重点目標 ①社会での制度や慣行についての配慮 ②国際交流と国際協力の促進

主要課題2では、男女共同参画に関する啓発等9事業を実施しました。



### (1) 目標達成度 平均 4.4 点 (5 点満点)

達成度は4~5点が過半数を占めており、平均点は4.4点で、ほぼ目標を達成しました。

「市民が主体となった男女共同参画の意識啓発」では、コムズフェスティバルで9つの市民企画分科会を実施し、準備会や報告会等で団体が集まる機会を5回設け、企画内容をブラッシュアップしました。目標の300人を上回る、354人の参加があり、充実した内容で実施できました。今後も参加団体数や開催時間等を工夫し、さらに市民が参加しやすくなるように努めます。

また、市内41地区公民館等から推薦される人権啓発推進員について、平成28年度の817人から平成29年度は840人に増加しており、各地域での人権教育推進と男女共同参画の意識の拡大が進められました。

### (2) 男女共同参画への配慮度 すべての項目でA評価

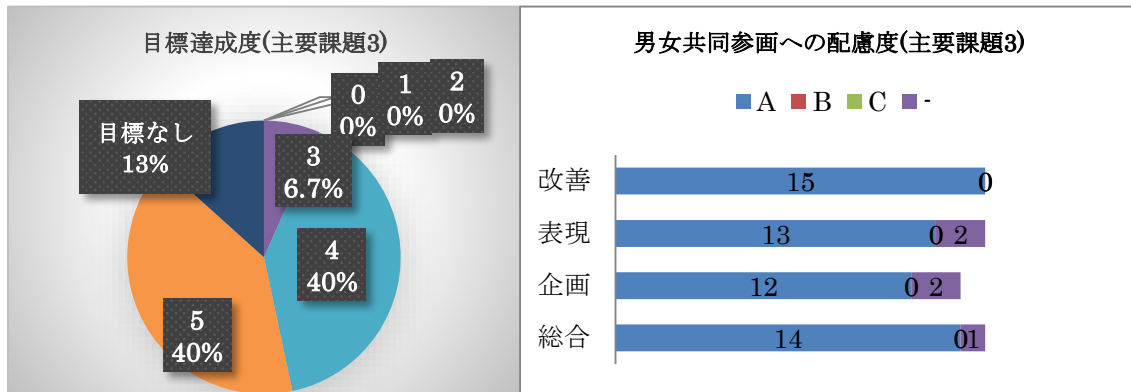
「企画」「表現」「改善」のすべての項目についてA評価でした。

前実施計画から、すべての項目でA評価であり、男女共同参画の視点をもって事業が遂行されています。今後も引き続いて周知・啓発等の事業を実施します。

## 主要課題3：政策等の方針決定過程への女性の参画拡大

重点目標 ①市の政策・方針決定過程への女性の参画拡大 ②地域・職場の方針決定過程への女性の参画の拡大

主要課題3では、女性の参画に関する15事業を実施しました。



### (1) 目標達成度 平均 4.4 点 (5 点満点)

「人材育成に関する講座」について、講座の参加人数が目標達成できませんでしたが、平均点は 4.4 点となり、ほぼ目標を達成しました。

「女性登用率の向上促進」では、「松山市審議会等の女性登用計画」で各審議会等担当課が女性登用率の自己目標を掲げて努力しましたが、目標 40.0%に対し、37.9%の実績（平成 29 年 4 月 1 日現在）となり、目標は達成できませんでした。しかし、各審議会担当課の努力により、計画策定時以降、着実に女性登用率は上昇しており、市の政策や方針決定過程の場に女性の意見が反映されてきていると言えます。今後も継続して女性の意見が反映できるよう取り組みを継続します。

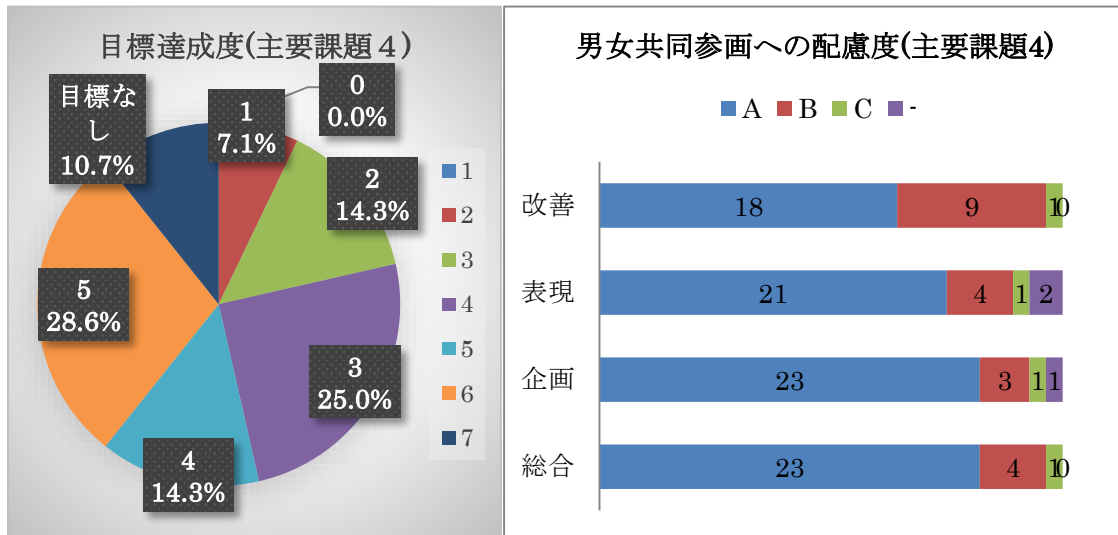
### (2) 男女共同参画への配慮度 全てA評価

「女性活躍推進に関する特定事業主行動計画」、「インターンシップ及び市役所業務説明会等」など、目標を設定できないものもありますが、その他ほとんどの事業でA評価となりました。

## 主要課題4：仕事と生活の調和

重点目標 ①雇用等の分野での男女の均等な機会と待遇の確保 ②柔軟な働き方を可能にするための理解促進と条件の整備 ③高齢者等が安心して暮らせる条件の整備

主要課題4では、仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）等28事業を実施しました。



### (1)目標達成度 平均 3.5 点 (5 点満点)

全28事業のうち、「男女雇用機会均等法の周知・啓発」でのセミナー参加者数や「松山市人材育成事業補助金事業」での研修等参加人数が目標を大幅に下回ったことなどもあり、全体の平均点は、3.5点でした。しかし、男女共同参画推進センターが実施した働き方改革に関する研修会など、参加者の満足度は大変高いものが多く、数字だけでは表せない効果も出てきています。今後は実施日時や研修形式等に工夫を加えながら集客を増やせるように努めます。

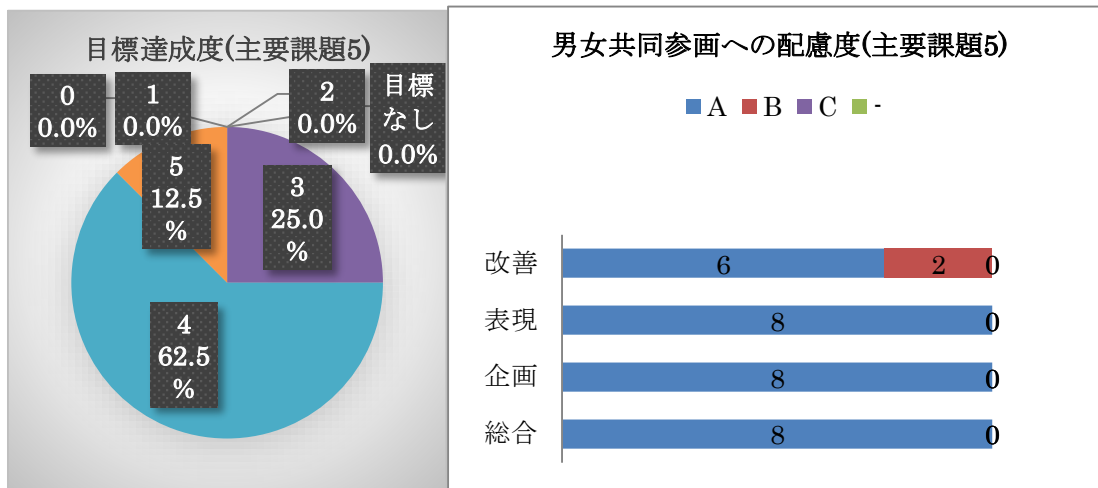
### (2)男女共同参画への配慮度 概ねA評価

多くの事業がA評価になりましたが、B、C評価の事業も見られました。引き続き、男女共同参画に配慮した事業を実施できるよう注視していきます。

## 主要課題5：地域防災分野での男女共同参画

重点目標 ①男女共同参画の視点を取り入れた地域防災力の充実強化 ②男女共同参画の視点を取り入れた防災・減災体制の確立

主要課題5では、地域防災に関する8事業を実施しました。



### (1)目標達成度 平均 3.9 点 (5 点満点)

「災害用物資資機材整備事業」では、主要な避難所への食料や物資・機材の配備について、目標の86.2%には届かなかったものの、昨年度から20.6%増の55.1%となりました。引き続き資機材の配備を行う予定です。

「みんなの消防フェスタ開催事業」では、目標参加人数1万人に対し、消防関係者や一般市民など1万2千人の参加があり、多くの方に防火・防災について関心を高めてもらうことができました。さらに多くの市民に関心を高めてもらうよう、引き続き取り組んでいきます。

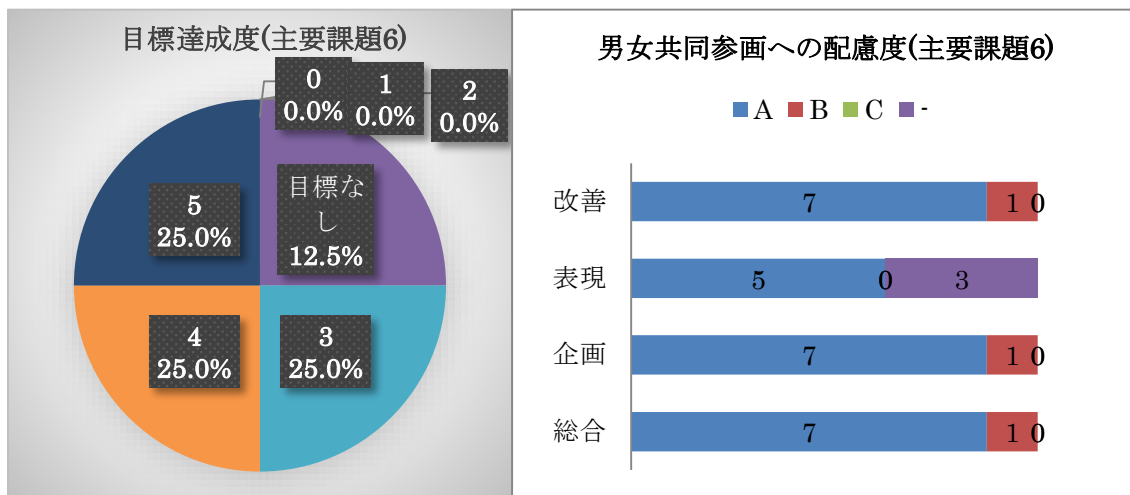
### (2)男女共同参画への配慮度 概ねA評価

ほとんどの事業がA評価になりました。今後ますます注目される防災分野について、男女共同参画の視点からも充実した内容にできるよう、啓発を行っていきます。

## 主要課題6：教育分野での男女共同参画

重点目標 ①男女平等を推進する教育・学習の充実 ②多様な選択を可能にする教育・学習の充実

主要課題6では、学校教育や子どもに関する8事業を実施しました。



### (1) 目標達成度 平均 4.0点 (5点満点)

イベントの参加人数や講座等の回数が目標より少なかった事業がありますが、平均は4.0点と概ね達成することができました。子どもに対する意識啓発やキャリア教育支援など、これからの男女共同参画社会を担う子どもたちへの事業は、重要なものであるため、引き続き教育の分野における充実も図ります。

### (2) 男女共同参画への配慮度 1事業をのぞいて全てA評価

B評価が1事業ありますが、その他は全てA評価でした。

## 統一事項

松山市男女共同参画事業実施計画が、〈平成29年度～平成31年度版〉になって初めての実績報告となりました。策定した目標に達しなかった事業もありますが、前実施計画の〈平成26年度～平成28年度版〉から着実に毎年度成果を挙げている事業もみられます。本実施計画から新たに追加した、ジョカツ・防災等の事業でも、ほとんどの事業でA評価となるなど、意識の高さがうかがえる結果となりました。今後もこの結果を踏まえながら、男女共同参画に配慮した事業を実施します。実施計画に掲げた事業のみならず、本市の様々な事業の実施にあたっては、社会のニーズを正確に把握することに加え、男女共同参画の視点を忘れないことが非常に重要なポイントとなります。男女共同参画について意識した取り組みがなされるよう、その重要性について、手引き等も活用し引き続き全庁的に周知啓発します。